

投票率向上のための取組

検討趣旨	京都市議会議員選挙における投票率の向上に向けて、市会として取り組むことができることについて検討する。																					
現 状	<p>1 平成23年4月10日執行の京都市議会議員一般選挙における市民の投票行動</p> <p>※ 「京都市民の投票行動ー京都市議会議員一般選挙（平成23年4月10日執行）を素材としてー」（京都市選挙管理委員会発行）を参照。</p> <p>(1) 投票率 42.90パーセント（有権者数1,133,007人，投票者数486,038人） ※ 前回の投票率から1.59ポイント下落。</p> <p>(2) 投票参加と年齢（「京都市民の政治意識調査（※）」の調査結果に基づく）</p> <p>ア 年代別に見る投票者と棄権者の割合の比較</p> <p>当該選挙の実施結果に見られる特徴として、20歳代や30歳代という比較的若い世代において、投票者の割合が低くなっている。男性の50歳代でも棄権者の割合が投票者の割合を上回っているが、概して年齢が下がるほど棄権する人の割合が多くなる傾向にあった。</p> <p>【参考】（投票した人の割合）－（棄権した人の割合）</p> <p>※ 正の値ならばその年齢層では投票した人の割合の方が多く、負の値ならば棄権した人の割合の方が多いことを意味する。</p> <p style="text-align: right;">（単位：ポイント）</p> <table border="1" data-bbox="488 1570 1401 1747"><thead><tr><th></th><th>20歳代</th><th>30歳代</th><th>40歳代</th><th>50歳代</th><th>60歳代</th><th>70歳代以上</th></tr></thead><tbody><tr><th>男性</th><td>△29.6</td><td>△4.5</td><td>13.5</td><td>△12.2</td><td>42.5</td><td>49.3</td></tr><tr><th>女性</th><td>△60.0</td><td>0.0</td><td>25.8</td><td>32.4</td><td>49.3</td><td>38.8</td></tr></tbody></table>		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	男性	△29.6	△4.5	13.5	△12.2	42.5	49.3	女性	△60.0	0.0	25.8	32.4	49.3	38.8
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上																
男性	△29.6	△4.5	13.5	△12.2	42.5	49.3																
女性	△60.0	0.0	25.8	32.4	49.3	38.8																

イ 20歳代及び30歳代の選挙当日の状況や気持ちとして、言及されている割合が多かったもの

- ・ 仕事や用事があった。
- ・ 市議員選挙に関心がなかった。
- ・ 政策や人柄を知っている候補者はいなかった。
- ・ 投票したい候補者はいなかった。
- ・ 選挙に行くのは面倒だった。

※ 「京都市民の政治意識調査」の概要

1 調査対象者

京都市在住の有権者の中から二段階で無作為に抽出された1,000名

2 調査方法

調査票を郵送し、調査員が後日回収。

3 調査期間

平成23年4月29日に発送し、4月30日から5月15日の間に回収。

4 有効回収数

609名（回収率60.9%）

2 議会に関心を持ってもらうための若い世代に対する京都市会の取組

(1) 子ども議場見学・親子ふれあい議場見学会

第2次市会改革検討小委員会での検討を踏まえ、平成19年度から、学校教育の一環として議場を見学していただく「子ども議場見学」と、広く一般の親子を対象とした「親子ふれあい議場見学会」を実施している。

<子ども議場見学>

京都市内に所在する小学校（国立，私立含む。）の4年生から6年生までの児童及び中学校（国立，私立含む。）の生徒と各引率教職員を対象に実施。

本会議場や委員会室などの見学を通じて、参加者に市会の仕組みや役割について学んでもらう。

<親子ふれあい議場見学会>

京都市内に在住又は通学する小学生（4年生～6年生）及びその保護者を対象に実施。

市会紹介DVDの鑑賞，本会議場や委員会室などの見学（本会議場では，児童が演壇で発言する機会を設定），市会事務局職員による模擬委員会の実演などを行うとともに，参加者には議長（又は副議長）との記念写真の撮影及び記念品の提供を行っている。

【参考】議場見学の実施状況（平成 22 年度～平成 25 年度）

年度	区分	実施回数（回）	参加者数合計（人）
H22	子ども議場見学	1	107
	親子ふれあい議場見学会	2	106
H23	子ども議場見学	5	304
	親子ふれあい議場見学会	2	102
H24	子ども議場見学	3	179
	親子ふれあい議場見学会	2	70
H25	子ども議場見学（※）	3	260
	親子ふれあい議場見学会	2	92

※ 平成 26 年 2 月 20 日に実施した西院小学校 6 年生 138 名による本会議の傍聴を含む。

(2) 子どもホームページ

子どもたちに市会の役割や運営について興味・関心を持ってもらうため、平成 20 年 3 月から市会ホームページ内に、市会子どもページを開設している。

(3) 市会紹介 DVD

京都市会開設 120 周年を記念し、京都市会の歴史や役割・仕組みなどを子どもたちにも分かりやすく紹介した DVD を平成 21 年度に作製。市立小中学校や市立図書館などに配布している。

論 点

- ①投票者の割合が低い若者世代や将来選挙権を有することになる子どもたちを対象に、市会としてどのような取組を行うか。
- ②そのほか、投票率の向上に向けて、市会としてどのような取組が考えられるか。

参 考

<他都市の状況>

市（議）会として行っている投票率向上のための取組については、別紙のとおり。

市（議）会として行っている投票率向上のための取組

※ 本資料は、「投票率向上のための取組」を、主に若者や子どもを対象とした「市（議）会に関心を持ってもらうための取組」と捉え、各政令指定都市に照会を行い、取りまとめたものである。

	取組内容
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 傍聴席からの議場見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 限定なし（ただし、ほとんどが小学校の課外学習として活用されている。） ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 傍聴席から議場や市議会の簡易な説明を行っている。
仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校5年生から高校3年生までの団体 ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 議場などの見学のほか、参加者が議員の席に座って、常任委員会、本議会の審議をロールプレイ形式で体験する。 ※ 子ども議会終了後、希望により選挙管理委員会による説明、模擬投票を実施している。 ○ 子ども向けリーフレット
さいたま市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 大学生（埼玉大学） ・ 実施頻度 1回（平成25年11月21日） ※ 予算委員会の協議会を埼玉大学の会議室を借りて実施。 ・ 実施内容 次年度予算編成が行われる時期に、次代を担う若い世代から市政に対する忌憚のない意見を聴き、予算審査の参考にすることを目的として、市としてあるべき姿や理想像について埼玉大学の学生と意見交換を行った。 具体的には、教育・教養・経済・理・工の各学部よりそれぞれ1名の学生に出席してもらい、「若者にとって魅力的な都市とは」をメインテーマに各自がパワーポイントを用いて7分～10分程度でプレゼンテーションを行った後に、予算委員である議員との意見交換を行った。 ○ 中学生議会・高校生議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 中学生，高校生 ・ 実施頻度 中学生議会2回（平成20年5月18日・平成21年11月1日） 高校生議会1回（平成22年11月13日） ・ 実施内容 参加者が議員となり、本会議場において正副議長選挙を行った後、議案（テーマ）の説明、委員会付託を行った。本会議を休憩し、各常任委員会において付託された議案（テーマ）について質疑応答、意見発表を行い、本会議を再開して各常任委員長からの報告などを行った。

千葉市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校 5, 6 年生 ・ 実施頻度 年 1 回 ・ 実施内容 参加者が子ども議会議員となり，事前学習会を実施したうえで，本会議場で提案・質問を行い，市長，副市長，教育長が答弁を行う。 ○ 子ども向けホームページ
川崎市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生による市議会の傍聴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 大学生 ・ 実施頻度 不定期 ・ 実施内容 市内の大学生に議会を傍聴してもらい，市議会の印象や傍聴後の感想などを議会広報紙の企画記事に掲載した。 ○ 夏休み子ども議場見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校 4 年生から 6 年生まで ・ 実施頻度 年 1 回 ・ 実施内容 「市議会のしくみ」の DVD の視聴及び傍聴席の見学のほか，議長・副議長への質問時間を設けている。 ○ 子ども向けホームページ
横浜市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生の本会議傍聴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学生 ・ 実施頻度 定例会ごと ・ 実施内容 市内の小学校へ本会議傍聴実施の周知を行い，申込みのあった小学校（主に 6 年生が参加）の児童に定例会の本会議傍聴を体験してもらう（1 グループ 40 人程度，約 30 分交代制）。また，傍聴の待ち時間を利用して市会の概要説明，質疑応答を行う。 ○ 子どもアドベンチャー（※）にて議会局のプログラムを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小中学生 ・ 実施頻度 年 2 日 ・ 実施内容 実施期間中，市会棟に来た児童や生徒（保護者や未就学児の同伴可）に，職員が市会棟内を案内する。最後に本会議場で記念写真を撮影し，無料で提供している。 <p>※ 子どもアドベンチャー 横浜市教育委員会事務局が実施。横浜市内の小・中学生等を対象に，キャリア教育の視点から，「働く」ことの体験や，様々な社会体験を通じた「人との交流」の場や機会を提供するため，夏休み期間中を捉え，横浜市役所を中心とした公的機関や民間企業の協力を得て，様々なプログラムを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向け DVD
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議会報告会の案内チラシの市内大学及び専門学校への配布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 市内の大学生及び専門学校生 ・ 実施頻度 年 2 回 ・ 実施内容 議会活動に関心を持ってもらうため，議会報告会（平成 24 年度から年 2 回実施）の案内チラシを市内大学及び専門学校にも配布して参加を呼び掛けている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校3年生から中学校3年生 ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 冒頭に議会事務局から議会の仕組みや役割等について「議会のしおり」を基に簡単な説明を行った後、参加者が実際に議長や議員となって議事を進行し、意見発表や質疑などを行う。テーマや議事の進め方は議論できるものであれば自由としている。
静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども模擬議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校6年生（学級単位または学年全体） ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 議会事務局が議会の仕組みや役割等について説明を行った後、参加者がシナリオに沿った模擬議会を体験する。最後に、子ども議会を体験しての感想の発表、先生からの講評を行う。
浜松市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向けリーフレット
名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども市会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校5, 6年生 ・ 実施頻度 年1回 ・ 実施内容 事前説明会及び事前研修会を複数回実施し、施設見学、委員会ごとの正副委員長の決定、本会議で意見発表する内容の話合い、正副議長の選挙などを行う。 これらを基に、本会議では、委員会ごとに一人ずつ意見を発表し、各常任委員長が答弁を行ったり、なごや子ども市会宣言の採択などを行う。また、子ども市会を通じて、陸前高田市の子どもたちとの交流活動も行っている。 ○ 議場見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 児童等 ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 市の概要及び市会のあらましを説明し、議場を見学してもらう。 ○ 本会議傍聴の事前申請受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 児童等 ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 小学校・中学校等の教育活動の一環として行われる本会議の傍聴については、名古屋市会傍聴人規則に基づき、あらかじめ議長の許可を与えたうえで、傍聴券交付手続を省略している。 ○ 子ども向けリーフレット
大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み親子議場見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 市内在住・在学の小学校3～6年生の児童及びその保護者 ・ 実施頻度 年1回 ・ 実施内容 市会本会議場や委員会室の見学のほか、参加者が模擬本会議・委員会を体験する。 ○ 子ども市会

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校5, 6年生又は中学生 ・ 実施頻度 小学生向けと中学生向けを隔年ごとに実施 ・ 実施内容 「子ども議員になっておおさかを考えよう！」をキャッチフレーズに、6つの委員会を設け、実際の大阪市会常任委員会で議論されるような市政に関する質問テーマについて、本会議場で子ども議員の代表者が発表し、それに対して市長が答弁、市会常任委員長がコメントする。
堺市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向けホームページ ○ 子ども向けリーフレット
神戸市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議場見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 限定なし ・ 実施頻度 随時（過去3年間は年10回程度） ・ 実施内容 市会の役割・仕組みなどについて説明するとともに、実際に議場に入り、施設を見学してもらう。小学生の社会学習から自治会の社会見学まで幅広く活用されている。 ○ 子ども議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 市立中学校の代表生徒 ・ 実施頻度 不定期（前回は平成25年7月31日に開催） ・ 実施内容 学校生活に関わりのある事柄、日頃の取組の課題や問題点をテーマに、未来に向けての理想や夢などについて、「中学生の視点」で話し合う。 ○ 子ども向けホームページ ○ 子ども向けリーフレット
広島市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向けホームページ
北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議場見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 小学校高学年（主に6年生）及び中学生 ・ 実施頻度 随時 ・ 実施内容 広報DVDの視聴、委員会室・議場の見学、子ども向けリーフレットの配布などを行っている。
福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向けリーフレット
熊本市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前研修会・子ども議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 校長から推薦された熊本市内の中学生 ・ 実施頻度 年1回（事前研修会2回、子ども議会1回） ・ 実施内容 事前研修会において、参加者は常任委員会分野ごとに6班（各班8人程度）に分かれ、各学校から出された市政に対する要望・課題・疑問について焦点化を行い、改善案や提案事項を話し合い、質問案を作成する（各局等から担当者がアドバイザーとして参加し、質問の作成を支援。）。 <p style="text-align: center;">完成した質問を基に、子ども議会を開催する。</p> ○ 子ども向けホームページ